

安全



安心

JAL不当解雇撤回ニュース

No298号 2013.07.11
発行: JAL 解雇撤回国民共闘事務局
連絡先: 航空労組連絡会事務局
〒144-0043 大田区羽田 5-11-4
フェニックスビル内
TEL: 03-3742-3251 FAX: 03-5737-7819
<http://www.jalkaikotekkai.com>



3期連続の好決算は 165名の人柱の上にな いたつものだ!

支援共闘共同代表・全国港湾 糸谷委員長

6月13日 本社前宣伝・要請行動

雨の中にもかかわらず、80名もの原告と支援者らでJAL本社への要請・宣伝行動を行いました。JAL労務部は相変わらず誠意のない対応に終始しましたが、6名からの力強い連帯の挨拶、乗員・客乗原告の決意表明、おしまいは怒りを込めたシュプレヒコールで、本社経営に強く抗議し闘う決意をあらたにしました。

昭和シェル労組 川島さん

ベテランを解雇するJALの安全に対する姿勢を疑う。直ちに皆さんを戻すべきです。

東京国公 植松事務局長

787の運航再開では原因がわからない中で、80項目の対策を講じているから安全だ、とする植木社長の発想こそ想定外だ。皆さんが一日も早く戻れるよう頑張ります。

CCU 古川委員長

一時金の低さや客室乗務員のみへの評価制度への怒りが職場の気持ちです。差別、格差に対しても働く仲間と連帯し、不当解雇撤回の自主解決を迫ります。頑張らしましょう。



本社に向かい元気にシュプレヒコールを行う原告たち

東京南部法律事務所 竹村弁護士

原発被害者弁護団として毎週福島に行っていますが、JALと東電は「安全よりも利益優先」の同じ穴のムジナです。こんな解雇を許してはいけません。

郵政産業ユニオン 東京地本 石川書記長

郵政の職場でも65歳定年制で皆さんと同じようにベテランを解雇し、職場は厳しい状況が続いています。連帯してともにがんばりましょう。

～原告の決意表明～

国家ぐるみの不当判決

地裁では稲盛証人が出廷したが、財界のトップが負ける戦に出るはずがない。元最高裁判事の甲斐中辰夫氏が社外取締役になり、管財人の瀬戸英雄氏は東京地裁民事8部とはじっこんの中。これだけでも国家ぐるみであることは明らか。高裁で判決を覆すためにも全てやり尽くして勝つまでたたかいます！

パイロット原告 山口宏弥団長

勝つまでたたかいます！

JALのCMが毎日のように流れていますが心が痛みます。旧株主の方々、自主退職を選ばざるを得なかった人たち、解雇された私たちにとっても許せないと思います。37年間、安全性・定時制・快適性を何よりも大切に働いてきました。勝つまでたたかいます！

客室乗務員原告 高橋範恵さん

6月20日 成田国際空港ターミナル ビラ

港ターミナルでのビラ配布。出発&到着ロビーでの旅行者くさん頂きました。

支援者。写真右は新しい制服を着用した職場の仲間にビラくらのペースで行っています。



6月26日 京セラ株主総会 宣伝・要請行動

朝からの雨の中、総勢24名で株主に向けて京セラ本社前で宣伝行動、竹田駅前では200枚のビラ配布。大手筋商店街で桃太郎宣伝を行いました。本社入口での要請行動は支援団体代表と両団長が行い、かなりのやり取りの後要請書を手渡すに止まりましたが、株主の方々へはアピールできました。宣伝行動終了後、原告と支援者で稲盛邸を訪問。稲盛さんは不在でしたが、奥様にご挨拶し稲盛さんに直接お話ししたい旨、要請書とともに託しました。

